

式根島

風光明媚な海岸線と
野趣満点の露天風呂



式根島はどこにあるの？

位置：都心から南に157km

面積：3.67km²

アクセス

航路：竹芝-式根島（東海汽船）高速船
で約2時間20分／大型客船で約9時間
新島-式根島（新島村連絡船）連絡船で
約10分

SHIKINEJIMA

OGASAWARA Islands.



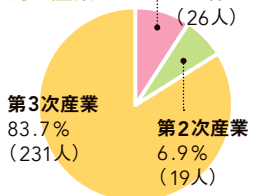
information

島の人々

人口：519人

世帯数：262世帯

島の産業



公共施設

医療機関：1

小学校：1

中学校：1

新島村の特産物

水産生鮮品：キンメダイ、イセエビ、タカベ
水産加工品：くさや、トサカノリ、タタキの
すり身、テングサ、ハバノリ

農林産生鮮品：レザーファン、アシタバ、
ラッキョウ、ルスカス、アメリカ芋、ブルー
ベリー、タマネギ

農林産加工品：明日葉加工品、焼酎、トウ
ガラシ、芋加工品、ペペロンオイル、ブルー
ベリージャム、ラッキョウ加工品

工芸品：新島ガラス、コーガ石彫刻品

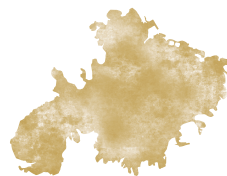
新島村のシンボル

花：ハマユウ

木：ヒメズリハ

鳥：シチトウメジロ

魚：タカベ



村営連絡船「にしき」

※式根島は行政上の区分では新島村に属します。



新島から約10分で渡れる島

式根島は新島の南西約2.4kmに位置し、新島村を構成する島です。連絡船で約10分の距離にあるため、高校生は式根島から新島に日々通学しています。

最も高い神引山かみひきやまでも標高は100mほどで、遠くからみると平らな形をしています。火山によって誕生した島です。伊豆諸島の多くが富士火山帯で玄武岩質の黒い溶岩であるのに対し、黒雲母流紋岩質くろくもりゅうもんせきしつの白い溶岩と火山灰でできており、粘りのある溶岩によって台地状の姿になったと考えられています。

明治期以降開墾が進む

式根島の遺跡から、人々が式根島に住み始めたのは、今からおよそ6500年前の縄文時代まで遡るとみられています。考古学的調査から、この時代に島に住んでいた縄文人は本州からではなく、南方諸島から来た

人々ではないかという説もあります。江戸時代の式根島には定住者はおらず、流人を新島、八丈島に運ぶ際の仮泊港として、あるいは年貢の塩を臨時に精製する場所、また湯治場、漁場であったようです。入り江の深い島の地形は、風待ちにも、漁を営むのにも都合が良かったのです。

明治時代になり、明治政府より開拓条件に新島への帰属が認められると、式根島への入植開発が始まりました。「まいまいず井戸」の前には、開島50年を記念した記念碑が立っています。

現在は海水浴場やマリンスポーツ、露天風呂番付で「東の張出横綱」に認定された地鉦温泉など、観光の島として賑わいをみせています。

子どもが楽しめるダイビングも。



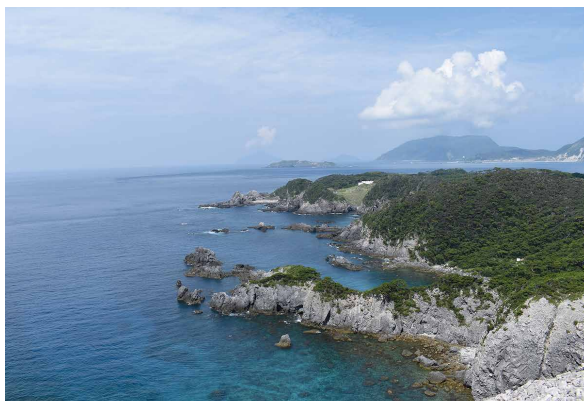
表情豊かな式根島の海岸線

式根島は浸食で多くの谷が刻まれた、山地が沈水して生じた屈曲に富むリアス海岸で囲まれています。根（海底から突き出た岩）を敷き詰めたような島なので、敷根島と呼ばれたことが名前の由来ともいわれています。深い入り江を形成したその地形は、古くは風待ちの船の係留地として、また漁業者には多くの魚が集まる漁場として、好んで利用されてきました。島の周囲には海中温泉が湧き出る世界的にも珍しいスポットがあり、ダイバーにも人気です。

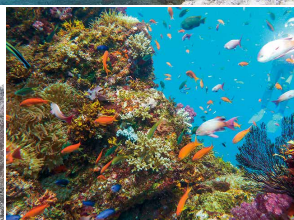
式根島の南側海岸一帯に目を向けると、松の緑や奇岩、小島、白砂、海の青といった箱庭のように美しい景観が目を引きます。1936（昭和11）年に式根島温泉ホテルができた際は、宮城県の松島になぞらえて「式根松島」と宣伝したそうです。

このように海岸線が変化に富み、様々な表情をみせてくれるので、展望台からの眺めは格別です。視界を遮るような高い山もないため、遠く富士山まで望める開放感溢れるオーシャンビューを楽しむことができる展望台もあります。

船の風待ちに良いことから泊島とも呼ばれた。



地鈍温泉へと通じる細道。ワイルドな岩場を抜けて海岸線へと向かう。



回遊魚や黒潮に乗ってくる季節来遊魚なども豊富。

海岸線を望める展望台



神引展望台

新東京百景に選ばれている式根島一の展望ポイントです。起伏に富んだ美しい海岸線や伊豆諸島のほか、天気の良い日には富士山まで見渡すことができます。眼下の神引湾と360度のパノラマ風景を楽しめます。

ぐんじ山展望台

島の東側に位置し、新島、三宅島、神津島、空気が澄んでいれば御蔵島も一望できます。展望台の下にはウミネコの繁殖地として有名な岩があり、巢作りから産卵、子育てまでの貴重な生態を観察できます。

あしじやま 足地山展望台

島の南側に位置し、足付温泉と地鈍温泉をつなぐ山道を登ったところにあります。眼下には式根島港を望み、新島やカムムリウミスズメの生息地である早島、神津島などを見ることができます。



とまり 泊海水浴場

野伏港から一番近い海水浴場です。入り江で扇状に広がる美しいビーチは、外海の影響を受けにくい遠浅の海なので、子ども連れの海水浴におすすめです。



ダイビングなど、初心者向けのマリナクティビティが充実しています。シーカヤックで海から式根島を眺めることもできます。

海のアクティビティが充実

リアス海岸で入り江に恵まれた式根島は、風や波の影響を受けにくいので、安全に海遊びを楽しめる海水浴場が充実しています。いずれも近距離にあるので、一日のうちに場所を移動して楽しむこともできます。また、ダイビングや子どもでも楽しめる各種アクティビティも揃っています。

中の浦海水浴場

神引湾と大浦海水浴場の中間に位置しています。透明度が抜群に高く、魚やサンゴなど生き物が豊富です。



いしじろがわ 石白川海水浴場

波が穏やかでスノーケリングやダイビングにもってこいの海岸です。海岸の近くにはレストランや商店も多くとても便利です。



大浦海水浴場

砂浜と岩場があるので、海水浴も磯遊びも楽しめます。岩肌が水を飲む馬の姿に見えることから「馬の首」と呼ばれています。



海の安全を祈る高森灯台

島の北側、野伏港と小浜港の中間に位置する高森山に作られた石油ランプ式の灯台です。漁船の遭難事故が多いことに心を痛めた「宮川タン」さんという女性が、個人で5年の歳月をかけて、コーガ石でできた石油ランプを置くと、1000段以上の石段を作りました。1930（昭和5）年、75歳のときに完成させると、それから約15年に渡って毎夜明かりを灯し続けました。

海の近くのキャンプ場

釜の下キャンプ場

石白川海水浴場のそばに立地し、商店やレストラン、温泉に近くとても便利なキャンプ場です。ゴールデンウィークと夏期をのぞく3〜6月及び11月に利用できます。無料ですが、式根島観光協会にて受付が必要です。



大浦キャンプ場

大浦海水浴場に隣接するキャンプ場で、夜は天気良ければ満天の星空を楽しむことができます。ゴールデンウィークと夏期のみ利用可能です。釜の下キャンプ場同様に無料ですが、式根島観光協会にて受付が必要です。





野性味溢れる式根島の温泉

式根島は、3つの天然露天風呂とひとつの温泉施設があります。天然露天風呂は、いずれも水着を着用することができます。24時間無料で入浴することができます。目の前の大海原を眺めながら、自然と一体となった入浴は、式根島旅行の醍醐味といえます。

地鉈温泉と足付温泉は、入浴に適した時間が限られます。入浴にベストな満潮の時間帯は日によって変わるため、宿泊施設や式根島観光協会に確認してください。松ヶ下雅湯は、当時の皇太子殿下と雅子様のご成婚を記念し、「雅」の字をいただいて命名されました。また、足湯は水着がなくても利用可能です。

地鉈温泉（内科の湯）

式根島を代表する温泉です。まるで鉈で地面を割ったような峽谷を通り抜けると、鉄錆色の温泉が待っています。泉質は塩泉で硫化鉄泉。神経痛や胃腸病などに効能があるとされていることから、内科の湯とも呼ばれています。泉温は80度超と高いため、特に干潮時には熱くて入浴できないこともあります。

足付温泉（外科の湯）

地鉈温泉とは泉質の異なる無色透明な炭酸泉の温泉です。切り傷などに効能があり、1800（寛政12）年に書かれた『伊豆七島風土細覧』にも「浴すれば皮上癒えて」と記され、古くから親しまれています。



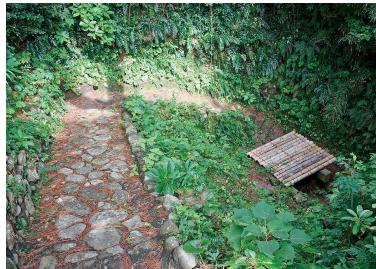
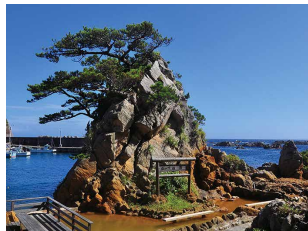
湯加減の穴

地鉈温泉に行く途中の壁に開いている湯加減の穴は、源泉とつながっており、中は温かいです。



松ヶ下雅湯

潮の干満に関係なくいつでも入れるよう、1993（平成5）年に造られた露天温泉です。地鉈温泉から源泉をひいています。車で近くまで行けるので、利用者も多いです。夜になると明かりが灯り、風情があります。



すり鉢状に作られたまいまいず井戸は螺旋状の小道を通って向かう。

貴重な水の源「まいまいず井戸」

1890（明治23）年から3年の長い歳月をかけて、当時式根島に渡った20人足らずの住民と新島からの協力者によって人力で掘った井戸です。「まいまいず」とは、カタツムリのことです。井戸に降りる通路の形状が似ていることから、そう呼ばれています。井戸の完成によって島の暮らしが急速に発展しました。なお、現在は新島から海底送水管を使って受水しています。

北側の山中には「水神様」が祀られている。



城ではない。「津城」は「人や魚が集まる所」という意味の昔言葉。唐人津城の断崖絶壁の下が良い漁場だったことに由来。



とうじんつしろ
唐人津城

憩の家
天候に左右されず入れる屋内温泉施設。



島内アクセス

レンタカー、レンタバイク、レンタサイクル
(電動アシスト付きを含む) あり

島の窓口



式根島観光協会

〒100-0511
東京都新島村式根島923



新島村産業観光課

〒100-0402
東京都新島村本村1-1-1



式根島養殖場
シマアジ・マダイを養殖。島外注文も受け付ける。



クジラのオブジェが目印で星空スポットとしても知られる。



ウミネコ
くんじ山展望台あたりで多く見られる。

島めぐりコース

【1日目】

- 午前 野伏港に到着 → 民宿の車で宿へ → レンタサイクルで泊海水浴場へ移動
- 午後 自転車と徒歩で唐人津城をめざす → 神引展望台で休憩 → 唐人津城で火山の島を体感 → 夕日ヶ丘で夕日を眺める

【2日目】

- 午前 レンタサイクルで民宿を出発 → まいまいず井戸を見学 → 湯加減の穴で温度をチェック
- 午後 地鉦温泉の露天風呂体験 → 憩の家の温泉で露天風呂の海水を流す → 野伏港から出港